

デイサービスセンターだより

利用者紹介

和田 タキ 明治43年3月17日生


お上品な言葉使いがいつも印象的です。
いつもはおすまし顔のタキさんも、ゲームが始まると、ハッスル顔に大変身！そのステキな笑顔で、頑張って下さい。

渡辺 フサエ 明治44年9月18日生


足が悪くてしばらくお休みされていましたが、お元気に通所を再開されています。いつも感謝の気持ちを持ってくださり、私達職員も仕事に励みが出てきます。運動会の活躍、期待しています。

三浦 シナ子 明治44年8月15日生


ボールを投げて「おおーハズレー！」の職員の声に「アレッ！」、「どうしよう！」と、とても残念そうな顔をされます。見ている方も残念無念……。どうしようもなく可愛らしい人です。

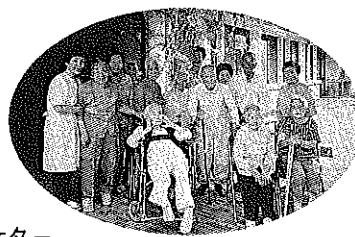
露口 シゲル 明治32年7月1日生


いつも上品な着物姿で通所され、九十七才とは思えぬ程お元気です。若い頃にしていた仕事の事など、想い浮かべては話してくださいます。百才も、もうすぐそこですね。

渡部 時枝 明治44年4月18日生


お迎えに行くと、ワンちゃんのコロとクロが出迎えてくれます。塩ヶ森の裏の方にお住いの時枝さん、自然のおいしい空気を満喫し、益々、農作業に精を出して下さいね。

—お花見—
花きセンター立体花壇の前で
ハイ、チーズ！



—七夕—
手作りの七夕飾りステキでしょ！



—ゲーム—
命中するかな？スイカ割りならぬボール割り？

えぐもですごす
笑顔の一日

—ゲーム—
風船はどこへ?
白熱した試合となつた風船バレー

—ふどう狩り—
諸体験の方も多く
思い出の1日でした。